

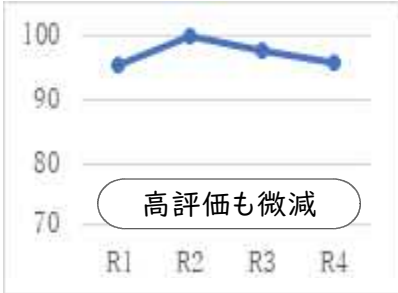
一雨毎に秋の深まりを感じるようになりました。帯広の森のグリーンベルトや校庭の木々も色づきはじめたり、葉を落したりと季節の移ろいをはっきりと目にすることができます。さて、今号では、学校評価アンケートの結果を最終版としてお伝えします。

## 学校評価アンケート結果③

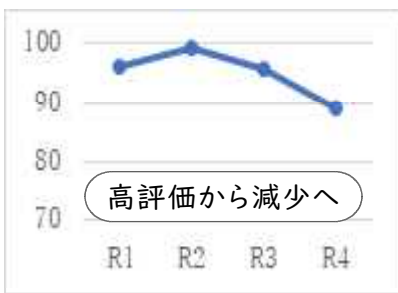
保護者アンケートの  
経年比較(各年前期比)

(「よくあてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合を比較しています)

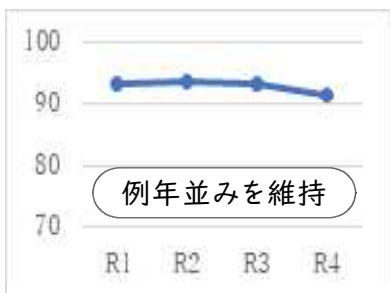
### 基礎基本・学力向上 学習のきまり



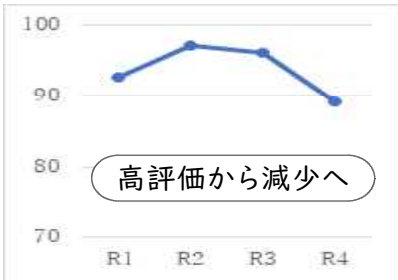
### 主体的な表現力の育成 学びを生かす力の育成



### 挨拶・返事・整理整頓 基本的生活習慣



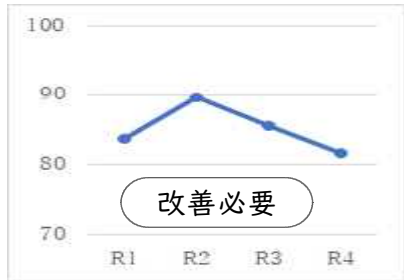
### 道徳教育の充実 豊かな心の育成



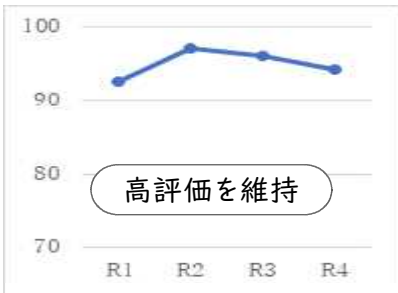
### 心身ともにたくましい 子どもの育成



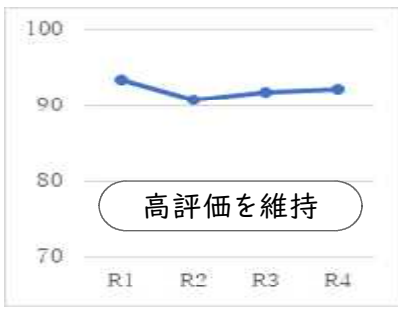
### いじめの未然防止 早期発見の取り組み



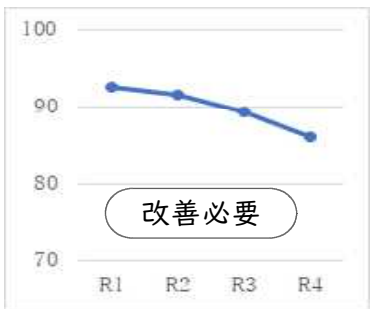
### 安全指導や安全 教育の充実



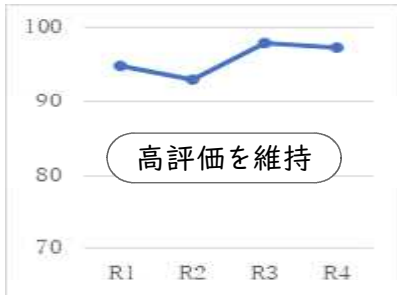
### 地域・保護者との連携協働



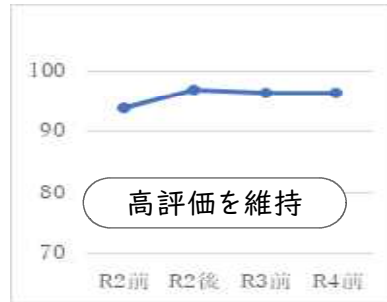
### 幼保小中連携



## 学校からの情報提供



## 学校の新型コロナウイルス対応



本校の新型コロナウイルスへの対応については、引き続き高い評価をいただきました。感染拡大して以降、子ども達の安心と安全、生命を最優先に限られた人員と限られた予算の中で最善を尽くしてまいりました。

また、日常の感染症対策や日々の健康観察シートへのご協力など、保護者の皆様のご理解とご協力があったのでこの評価だと考えております。

学校行事やPTA活動において、今後も様々な制限や制約が続くと思いますが、学校と家庭が力を合わせて、コロナ禍を乗り越えていきたいです。引き続き、よろしくお願いたします。

## 前期学校評価を終えて

全体的に高評価をいただいておりますが、質問項目によっては、「わからない」と回答した家庭も多く、「わからない」の回答が減少するように『情報発信』とあわせて『取り組みの見える化』を進めていきたいと考えています。

また、学校評価を評価のための評価にしてはなりません。

学校評価のねらいは、

- ①教育の質の向上
- ②信頼される開かれた学校づくり
- ③学校改善

この3つです。

学校評価を実施するからには、意味のあるもの、付加価値を持つものにならなければなりません。その年度（前期終わり）に表出した結果を受け止め、素早く改善しようとする意識化を図ること、行動することが大切です。学校の課題を把握し、職員一人一人が、自分なら何ができそうか、何をするのかを明確にしながら、職務にあたる事ができるように職員と情報を共有し、改善に努めてまいります。

## お願いします

過日、『学校と家庭が協力した「いじめ対応」』（道教委・学校安全課より）をお配りしました。いじめの対応について記載されています。ご家庭でも折に触れ、話題にしてください。

お気づきの点などありましたら、学校までお知らせください。

## 後期の教育活動推進に向けて ～以下の視点で取り組んでまいります～

- ① 研修部を中心とした授業改善、全校での取り組みの推進など
- ② 教務部・道徳教育推進教諭を中心とした計画的な取り組み、授業参観での授業公開など
- ③ 生徒指導部を中心とした『自己決定・自己肯定感・共感的な人間関係の構築』などの継続した取り組み
- ④ コロナ禍により中断していた活動のできる範囲からの再開（児童会活動や異学年交流）など
- ⑤ エリアファミリーでの情報交流、地域・保護者・教職員への情報提供など  
※ さらに、①～⑤の活動の様子や内容を、家庭や地域に知らせる手立てのさらなる充実
- ⑥ 働き方改革コアチームによる業務改善策の検討

## 前期学校評価にご協力いただき、ありがとうございました

## 後記

今号の標題「寒露（かんろ）」（二十四節気のうちの一つ）は、夜が長くなり、露がつめたく感じられるころ。朝晩の冷え込みはきつくなりますが、空気が澄んだ秋晴れの過ごしやすい日が多くなります。夜空を見上げると、より美しくきれいに輝く月が見られますね。過日、帯広でも初霜・初氷が観測され、一段と季節の移ろいを感じるようになりました。

